

SDGsをもっと身近に感じてもらうため、「市SDGs推進協議会」加入団体の取り組みを紹介しします。

☎ SDGs 推進室 ☎ 26-6806



岩村醸造株式会社

(岩村町) <https://www.torokko.co.jp/>

天明7(1787)年創業で、市内唯一の造り酒屋です。町のシンボルである岩村城の築城800年を記念し誕生した「女城主」や、笠置町のユズと酒蔵の天然水を使った清涼飲料水「柚子と水」などを製造・販売しています。

SDGsの取り組み

国際交流で、学びと働き場を提供

名古屋商科大学大学院の留学生の学びの場として酒蔵見学や講話を行う他、ウクライナからの避難民を従業員として受け入れています。



環境と経済を好循環

商品の製造過程で排出される二酸化炭素を相殺したカーボンオフセット商品を創出し、ふるさと納税の返礼品に登録しています。



▲女城主 特別純米酒

酒粕のアップサイクル

廃棄予定のものに手を加え、新しい製品へと生まれ変わらせる「アップサイクル」。酒の搾り加減を調節し、酒粕を商品化して廃棄物の削減と酒の品質向上に努めています。



関連するSDGsの目標



こども元気プラザ

親子でふらっと立ち寄って遊べる場所



▲こども元気プラザ

今日は、恵那文化センターの隣にある「子育て支援拠点施設」こども元気プラザに行ってきましたよ。ここは、親子で遊べて、同年齢の子を持つ保護者との交流ができる場所なんだ。

入口の看板に、今日は節分ごっこがあると書いてあったから参加してみたよ。「にこにこひろば」の部屋にはたくさんのお菓子が集まっています、赤や青、黄色に塗られた鬼の形の箱に、豆に見立てた紙をおつけしていたよ。季節行事をみんなで楽しめたね。



▲鬼は外！福は内！

娘のほっぺで食べたよ。夕方には、こども園帰りの子どもたちも来遊ぶこともあるんだ。保健師が子どもの体重測定をしたり、年間を通して楽しい活動や講座を開催しているみたい。そうそう、利用できるのは月曜日から土曜日の午前9時から午後5時まで。予約はいらなから、ふと立ち寄って楽しい時間を過ごして欲しいな！



▲たくさんの親子が来てくれたんだ

☎ こども元気プラザ ☎ 26-6918

恵那暮らしビジネスサポートセンター だより

女性創業者交流会

創業に向けて不安に思うことはありませんか？ 創業の体験談や成功ノウハウなど、先輩の女性創業者から話が聞けます。

先輩創業者



飯地商店 横江美架さん、あやこ Nail&beauty JUJU 岡田綾子さん、小笹寿里さん

ファシリテーター



栗田康代さん

- 日時 4月17日(水) 午前10時～午後1時
- 場所 恵那文化センター 2階展示会議室
- 対象 創業に関心のある女性か、創業5年未満の女性
- 定員 20人(先着順)
- 料金 1,000円(昼食代)
- 内容
 - 先輩創業者から、創業して良かったことや苦労したことなどの体験談を聴く
 - 参加者から、創業に対する疑問や質問をする

☎ 恵那暮らしビジネスサポートセンター 恵那市大井町206-5 ☎ 26-2266 ✉ info@enalifebizsupport.jp



営業日 月～土曜日(午前9時～午後5時) 定休日 日曜日、祝日、年末年始

物知り先生のふるさと情報

(三好学博士顕彰誌2)

「孤高の植物学者」 三宅勝義さん(東野)

第十二話 その支えた人たち

今回で連載は最終回です。ありがとうございました。

もうかがえます。

偉業を成し遂げるには陰で支えた人が必ずいます。関わった人たちの支援が必ずあります。牧野富太郎は、窮地に立つと、いつもタイミングよく理解者が現れて救われてきました。何と言っても一番の理解者は妻でした。妻の壽恵子は、富太郎のことを「まるで道楽息子を一人抱えているようだ」と諦めつつも、子どもを13人も産み、ぎりぎりまで節約して家計を切り盛りしました。

「長年の間、妻に一枚の好い着物を作ってやるでなく、芝居のような女の好く娯楽は勿論一つ与えてやったこともないくらいであったが、この間妻は嫌な顔一つせず、一言も不平を言わず、自分はせいぜいぎざだらけの着物を着ながら、逆に私たちの面倒を見てくれ、貞淑に私を支えてくれたのです」

一方、三好学は父が急死してから岩村の叔父や福井の西光寺の伯父、東京の中嶋家の伯母など、親戚の人たちに多く世話になりました。実直に感謝を言葉で伝える技量は、富太郎に負けます。しかし、最後まで一人身だった東京の伯母には、多額の借金をしてまでお墓を建ててあげませんでした。感謝の念は富太郎に負けていません。



▲晩年の三好学

(三好学博士顕彰誌連載終わり)